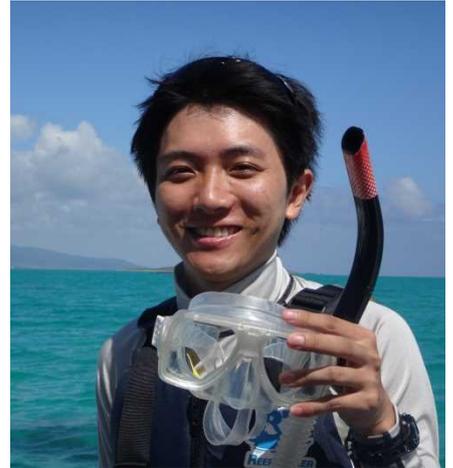


PE 試験合格体験記 1

1. 会員番号 PEN-0135 氏名 一町 直樹
2. 専門分野
化学工学、
3. 保有資格
エネルギー管理士、危険物取扱者 甲種
4. 本文



2014年の春にPEは、1回目の試験は、残念ながら、落ちて、しまい、捲土重来と期して、2014年の秋に2回目のPE試験で、無事合格することが出来ました。

1回目の受験で落ちてしまった私自身の分析と、2回目の受験時に取った対策について、以下に述べさせていただきたいと思います。

まず、受験するにあたって、下記の参考書等で勉強しました。

- 参考書: Chemical Engineering Reference Manual for the PE Exam (Michael R. Lindeburg)
- 問題集: Practice Problems for the Chemical Engineering PE Exam (Michael R. Lindeburg)

1回目の試験時では、受験対策で、上記の参考書・問題集の中には、SI単位系と、ヤードポンド単位系の2つの問題が記載されていたため、自分が普段使っている、SI単位系で問題を解いていました。本番の試験では、SI単位系の問題は、一切出題されず、すべてポンドヤード単位系の出題でした。

現在はどうなっているか定かではございませんが、4年前に受験したFE試験の時は、どちらの単位系も記載されていたので、PE試験も、SI単位系で勉強していれば十分だと考えていました。

試験の中で、単位換算で焦ってしまい、単位換算に気を取られてしまい、与えられた試験問題に十分にTry出来なかったため、不合格になってしまったのだと考えました。そこで、2回目の受験勉強の時には、ポンドヤード単位系で解けるように、問題集を1から解き直し2回目の受験に望みました。受験対策の甲斐もありまして、2回目で、なんとか無事に合格することが出来ました。今後のChemicalを受験する受験生に対してのアドバイスとして、問題集・参考書には、SI単位系も記載されていますが、ポンドヤード系で解いて勉強することを強く推奨いたします。